

## 城下町きつき観月祭 ボランティア参加

10月8日(土)、杵築市にて「城下町きつき観月祭」が開催され、大分キャノンマテリアルの社員がボランティアに参加しました。

大分キャノンマテリアルが事業所を置く杵築市では、古くから茶の湯文化が根付いており、観月祭も、中秋の名月に合わせて開かれるお茶会の際、城下町に訪れるお客様の足元を照らす“おもてなし”から始まったといわれています。

当日、社員は木材や紙を使用して行燈を製作し、夕暮れとともに火を灯しました。その行燈は、城下町を歩き交う人々の足元を優しく照らしていました。

大分キャノンマテリアルは、これからも地域貢献に努めてまいります。

